

平成27年度の重点テーマについて

子どもは地域の宝であり、本県の将来を担う大切な財産です。その子どもが被害に遭う犯罪や交通事故の件数は減少傾向にあるものの、他県では児童が連れ去られる痛ましい事件が発生し、県内でも、その前兆である声かけ事案の発生が続く状況にあるなど、引き続き県民の皆さんで「子どもを守る」という共通認識を持ち、それぞれの地域での見守り活動を進める必要があります。

高齢化が進む本県では、高齢者の交通事故や、特殊詐欺、悪質商法などの犯罪被害が後を絶ちません。これらの被害を防ぐため、自主防犯ボランティアなどによる訪問活動などが行われています。こうした活動の見守りの輪を県内全域に広げ、一層充実させていくことが重要です。

乗り物盗被害は年々減少しているものの、その多くが鍵をかけていない状態で被害に遭っています。また、住宅をねらった侵入盗被害が増加し、無締まり箇所から侵入される被害が目立つことから、「自らの安全を自らで守る」ための基本的な取組として「鍵かけ」の意識を高めることが大切です。

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は全国的に増加傾向にあり、県内でも年間被害総額が5億円を超える状況であることから、今後も新たな手口に備えるなど、被害の発生を防ぐための継続した取組が必要です。

以上のことから、平成27年度の重点テーマを次のとおり定めます。

重点テーマ

地域で子どもを見守ろう

高齢者などを事故や事件から守ろう

鍵かけ運動を進めよう

特殊詐欺の被害を防ごう